

【参考】

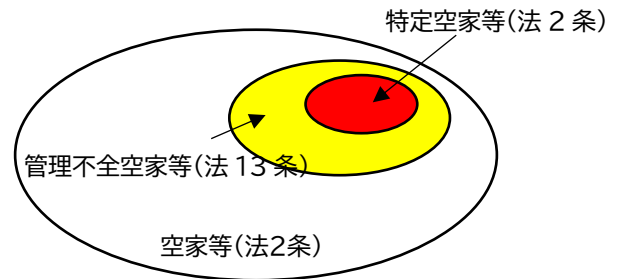
1 根拠法

空家等対策の推進に関する特別措置法

2 空家等の定義（条文抜粋）

（１）空家等（法２条）

建築物又はこれに附属する工作物であつて居住その他の使用がなされていないことが常態であるもの及びその敷地（立木その他の土地に定着する物を含む。）



（２）管理不全空家等（法１３条）

空家等が適切な管理が行われていないことによりそのまま放置すれば特定空家等に該当することとなるおそれのある状態にある空家等

（３）特定空家等（法２条）

そのまま放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態又は著しく衛生上有害となるおそれのある状態、適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態にあると認められる空家等

3 特定空家等と管理不全空家等の関係

【状態】 良 → 悪



4 管理不全空家等、特定空家等の認定

